



時計台

小林市立永久津小学校 校長通信

令和7年10月8日 第68号 (文責 校長 吉井秀一)

TEL: (0984) 23-3515 E-mail: nagakutukko@miyazaki-c.ed.jp

小林市が二学期制を導入したのは平成十七年四月です。教室にはクーラーが付きました。8月にも授業を行うようになりました。十月の第一曜日はどこも小学校の運動会が行われていましたが、今はこの季節にする運動会はかえって珍しくなりました。この二十年で大きく学校の様子が変わる中、変わらぬいもののひとつが「通知表」(あゆみ)です。子どもたちの学校の様子を家庭に届けようと、先生方がこれまでの記録をまとめます。限られたスペースの中に思いを込めるために、その作業は夜中までかかることがあります。

先日うどん屋さんに行きました。店は混んでいて、私たち夫婦二人は対面式のカウンタ席に案内されました。真ん中の目隠しを挟んで、反対側の人の様子は手元しか見えません。のぞいたわけではありませんが、どうやら反対側の席は私たちより少し若いくらいのご夫婦。奥さんは、うどんとカツ丼のセットのようでした。

(よく見どるがな…)

違和感を抱いたのは、その奥さんが食べ終わった時です。カツ丼のどんぶりの内側に、ご飯粒がたくさん付いて残っているのです。食べきれずに残したという感じではなさそうです。その後の展開を気にしていると(まだ、見どる…),ご夫婦はそのご飯粒が結構付いた丼をそのままに店を後にされました。妻も同じことを感じていたらしく、思わず顔を見合わせてしまいました。

店員さんに案内された家族が入ってきました。ちょっとヤンチャなTシャツのお父さんと中学一年生ぐらいの長男さんは小学校二年生ぐらいかな？「男の子3人とは、さぞかし家もにぎやかだらうなあ。」と勝手な想像を巡らせながら何となく見ていると、次の光景にハッとしました。

父子が案内されたのは小上がりの座敷席。次々に靴を脱いで上がる男の子たちがとても自然に自分の靴をそろえて上がったのです。後から入ってきたお母さんと家族5人で仲良くメニューを選んでいる光景は、私にとって、とても清々しいものでした。

今の世の中、価値観もいろいろですが、きれいに食べ終わったお茶碗やそろえられた靴は、だれにも残念な思いをさせることはないでしょう。

茶わんの米つぶ

あるうどん屋（またつ！）で注文した品を待っていると、

留守番電話対応

夕方から、勤務時間以外の学校への電話連絡は、原則として留守番電話対応となります。

運用に関して、ご意見等ありましたら、遠慮なく学校までお知らせください。

学校近況スナップ

「お母様の思い出をたどって」

先日の NHK ニュースで1年生のひまわりがニュースで取り上げられましたが、それをきっかけに、永久津小学校にお客様が来校されました。

来校されたのは、都城市在住の渡邊様。お話によると、亡くなられたお母様が昭和20年に先生として最初に赴任されたのが永久津小学校だったとのこと。

今の永久津小学校の様子を写真に撮りお母様に報告したいと来校されました。

昭和20年に小学校生だった方は、現在87歳以上になられていますかね。先生のお名前は 富永 ミエ子 先生。

覚えていらっしゃる方もいるのでは…。

1年生が育てたひまわりのおかげで、80年前の歴史とつながった一コマでした。



「大きくなつてね」

6年生が9月2日(木)に秋咲きのコスモスのたねを植えてくれました。



「コスモスのたねまきにはちょっと遅いのでは?」と思われるでしょうが、11月12日(水)に市内の先生方が永久津小学校に集まる研究会が行われるので、うまくいけばコスモスで歓迎しようというわけです。元気に育ってくれるといいのですが…。

日頃の子どもたちの様子やお知らせ、行事の計画などは学校 HP も見てくださいね。
(URL) <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1408/>